

## 【NEWS RELEASE】

2023年1月4日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井住友フィナンシャルグループ 執行役社長 グループ CEO 年頭メッセージ要旨

本日、三井住友フィナンシャルグループ（以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）執行役社長 グループ CEO 太田 純は、グループ会社の役職員に対して以下の趣旨のメッセージを送ったのでお知らせいたします。

## 【要 旨】

昨年は、コロナ禍からの経済活動の回復による世界的なインフレの昂進や、ロシアによるウクライナ侵攻等、我々を取り巻く環境が大きく変化した一年だったが、皆には、持ち場持ち場で業務に邁進してもらった。

一方、昨年10月、SMBC日興証券における相場操縦事案や銀証間における不適切な情報授受に関して行政処分を受けたが、反省すべき点を真摯に反省した上で、SMBCグループが一丸となって、お客さまを始めとする各ステークホルダーからの1日でも早い信頼回復に努めていきたい。

2023年は、現在の中期経営計画を締めくくり、新たな中計が始まる年。そこで、皆に心掛けてもらいたいことを2点申し上げる。

1点目は、「Trust（トラスト）」、すなわち、お客さまを始めとするステークホルダーとの「信頼関係」を築き上げること。我々金融機関のビジネスは、お客さまからの信頼を基盤としており、お客さまとの信頼関係は、コンプライアンスはもちろんのこと、安全・安心な事務・システム、お客さまのニーズを捉えたソリューションの提供等、皆が日々取り組む業務の上に成り立っている。改めて、こうしたビジネスの基本に立ち返り、お客さまを始めとするステークホルダーとの強い信頼関係を構築し、成長に向けた足場固めをしていきたい。

2点目は、「Aspiration（アスピレーション）」、すなわち、自らが未来を創っていくという「気概、熱意」を持つということ。世界の先行き不透明感が高まっている今こそ、受け身にならず、自分達で未来を創っていくという気概を持って新しい取組に挑戦することが重要。皆には新たな中計がスタートする中で、それぞれの持ち場で精一杯チャレンジしてもらいたい。

これからの時代は、過去からの延長線上に解はなく、旧来のしがらみにとらわれずに、自ら新たな未来を切り拓くことができるようになる。こうした状況において、私は、今後30年間を「幸せな成長の時代」にしたいと考えている。皆が日ごろの活動によって生み出す社会へのポジティブなインパクトの集積が、SMBCグループの創造する「社会的価値」となり、将来の「幸せな成長の時代」に繋がっていくと確信している。

SMBCグループとして、「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」というビジョンに向かって、皆とともに力強く進んでいきたい。

以 上